

● **団体名** せいさくしゃしゅうだん ちょはっかい

「製作者集団 猪八戒」

代表者

会長 田淵優一

記載者

片田知宏

● **所在地(市区町村名のみ)**

鏡野町

● **活動目的**

伝統文化の復興・継承による地域活性化

● **団体の紹介**

「製作者集団猪八戒」は、1997(平成9)年7月に、伝統文化の復興・継承による地域活性化を目的に、上齋原地域(当時の上齋原村)で結成された。毎回幹部とボランティアの賛同者により数名～約30名で活動している。毎年の主な活動は、上齋原神社の春祭りの「奉納おんな相撲の興行」、夏祭り(宵祭り)の主宰、秋祭りの「奉納子供相撲の興行」だが、子供の減少により継続が困難になっている。このほか、恩原高原スキー場の氷紋まつりの雪像造りや岡山市西大寺地区との吉井川交流や全国生涯学習フェスティバルに参加してきた。

● **助成を受けての活動内容**

上齋原神社境内での奉納おんな相撲は、平成30年(2018)春で、第20回の興行を迎えた。私たちの活動は、過疎高齢化で、人影もまばらになりつつある郷土の村の、伝統文化の復興による地域活性を目標とした活動で、様々な活動をしてきたが、今回助成を受けた奉納おんな相撲は、最近の活動の主力である。上齋原神社は、上齋原地区の氏神であるが、ここでは古くから奉納相撲(宮相撲)が行われていた。これは青年の宮相撲であったが、昭和30年代を最後に絶えた。私たちはこの復興を目指して最初に子供相撲を平成9年(1997)から開始し、青年相撲はついに復興せず、平成11年(1999)からおんな相撲を興行している。おんな相撲も平成30年には、第20回記念大会を迎えた。この機にこれまでの優勝者(横綱)のうち、複数回優勝者などのタペストリーを製作したり、20回記念大会のリーフレットの作成をするなどした。

毎年1回のおんな相撲の興行であるが、かなりの費用がかかるため、県内の企業・商店様からの助成・寄付に支えられ実施できています。

● **助成を受けての成果**

春祭りに行われるおんな相撲相撲興行であるので、歴代横綱の雄姿のタペストリーは、参道の石段に掲げ第20回記念興行として、大会に花を添えるものとなった。またタペストリーは歴史と伝統を伝える装置として、一過性でなく使えるものである。

元々、奉納相撲は青年によっていつから行われているかわからない程古くからのものである。その意識付けには賑やかで華やかな大会に越したことはない。助成を受けて興行・会場装飾に花を添えることが出来た。

● **今後の活動の課題点**

おんな相撲興行は、過疎高齢化の郷土にわずか1日ではあるが、観光客を誘致し華やかな春祭りが興行出来ているが、地域の過疎高齢化は進み、私たちメンバーも若くはなくなった。活動の継承は危ぶまれる。何百年も継承してきた地域そのものの存続の危機が現実のものとなりつつある。

● **問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)**

問い合わせ:0868-44-2730 (片田)

上齋原神社 奉納おんな相撲

